

本事業の目的と概要

平成 22 年 9 月
一般社団法人 National Clinical Database

本事業の目的と概要

本事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、治療成績の改善を目指すプロジェクトです。本事業に登録したデータを分析することで以下のことを明らかにすることができます。

- 手術を行っている施設診療科の特徴
- 医療水準の評価
- 適正な専門医の配置
- 手術を受けた方の予後
- これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性、など

これにより、各診療科は自診療科の特徴や課題をより明確にすることができます。そして、診療科、施設単位だけでなく、地域レベル、全国レベルで医療の水準を明らかにして、地域単位、国単位で比較することもできるようになります。また、術前のリスクをより精確に評価できるようになり、その情報を用いて患者さんやその家族と手術・治療の方針を検討できるようになります。さらに、全国の皆様に手術・治療を提供できるようにするため、よりよい専門医制度のあり方を検証するための基礎資料ともなります。加えて、さまざまな臨床研究・介入研究と連携して運営することで、データ登録を一元化し、データ入力にともなう負担を軽減することも期待できます。

これまでの経緯

2010年4月に一般社団法人として登記を申請した後、NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議、理事会を開催して準備を進めてきました。

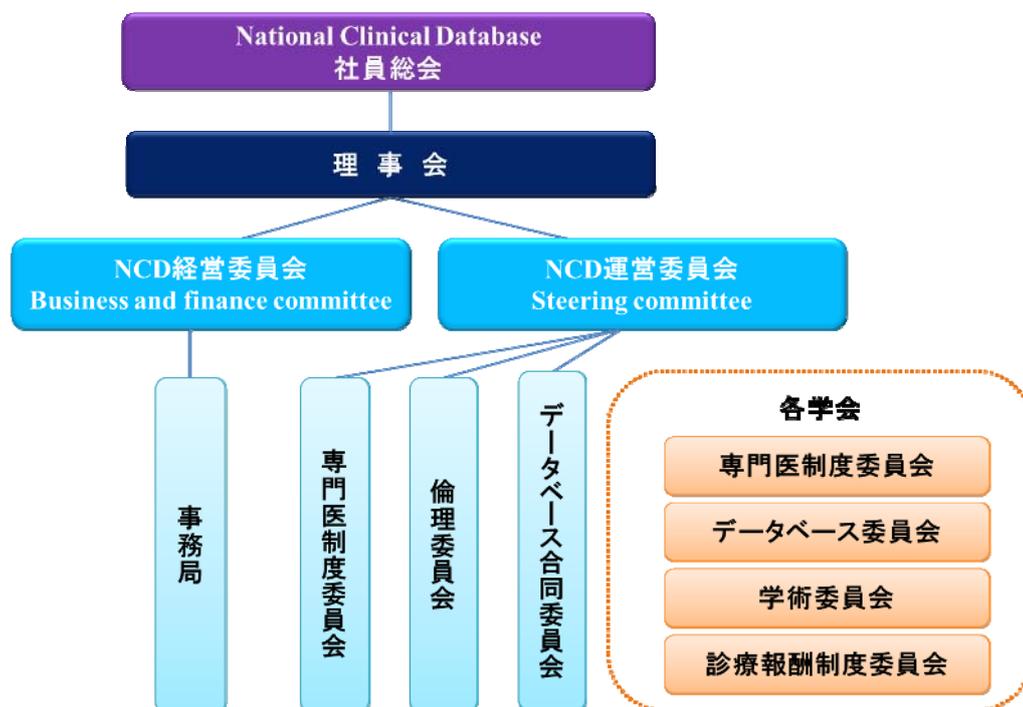
- | | |
|------------|---------------------------------------|
| 2010年4月8日 | 一般社団法人として登記申請 |
| 2010年4月19日 | 第1回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |
| 2010年5月17日 | 第2回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |
| 2010年6月21日 | 第3回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |
| 2010年6月28日 | 電磁的記録による理事会決議：基金の承認、定款施行細則の承認 |
| 2010年7月28日 | 第1回NCD理事会開催 |
| 2010年8月9日 | 第4回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |

運営形態

手術・治療に関する情報の登録は、本事業に参加する施設の診療科でおこなっていただきます。登録されたデータは一般社団法人 National Clinical Database (以下、NCD) 【図1-1参照】がとりまとめます。NCDは下記の学会・専門医制度と連携しており、今後さらに拡大していく予定です。

- 外科専門医 (日本外科学会) 以下50音順
- 呼吸器外科専門医 (日本胸部外科学会, 日本呼吸器外科学会)
- 消化器外科専門医 (消化器外科領域については、以下の学会が「消化器外科データベース関連学会協議会」を組織して、NCDと連携する：日本消化器外科学会, 日本肝胆膵外科学会, 日本食道学会, 日本胃癌学会, 大腸癌研究会, 日本肝癌研究会, 日本膵臓学会, 日本内視鏡外科学会, 日本腹部救急医学会)
- 小児外科専門医 (日本小児外科学会)
- 心臓血管外科専門医 (日本胸部外科学会, 日本心臓血管外科学会, 日本血管外科学会)
- 内分泌・甲状腺外科専門医 (日本内分泌外科学会)
- 乳腺専門医 (日本乳癌学会)

図1-1 National Clinical Databaseの概要



本事業の経費

本事業は日本外科学会および日本消化器外科学会などの各種臨床学会からの基金によって運営されます。その管理・運営はNCDがおこないます。